

府連版 NO. 486

543-0014 天王寺区玉造元町 6-9
日本ベトナム友好協会大阪府連合会
TEL&FAX=06-6768-4868
URL=<http://nhatvietosaka.jp>



日本ベトナム友好協会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-17-10
電話03-3945-8543 FAX 03-3945-9072

Eメール nihon-vietnam@cream.plala.or.jp

振替 00110-0-34498

定価 500円（協力会費）



『ベトナム将棋をする人(ホーチミン)』

堂本泰郎氏 作

《当面の行事》

7月2日（金） 7月度拡大常任理事会（ZOOM会議）

友好協会第 66 回

全国総会開く

コロナ禍で

初ZOOM会議

昨年はコロナ禍で中止していた全国総会を、今年は緊急事態宣言下でしたが初めてのZOOM会議というオンラインでの会議ということで実施できました。

山根理事長のまとめでは、18支部のうち15支部の参加があったということでした。参加者数は57名です。

ハノイから古田会長の挨拶がありベトナムでコロナ感染が拡大して陽性者の隔離も厳しくなっていると報告もありました。ハノイからの発言参加もありました。そういう点では新しい会議のスタイルの積極面が生まれたといえます。ただ相互の交流という面ではやはり不十分な気がします。

会議は最初に議長の選出があり、京都支部の鈴木元氏が本部から推薦され選ばれ、鈴木議長の進行で会議はスムーズに行われました。情勢報告は井ノ尾副理事長、活動報告と決算報告は柳事務局長が担当し、活動方針案の提案と会議のまとめは山根理事長が行いました。

総会参加者は =スマホの画面、右上に井ノ尾氏= パソコンまたはスマホの画面に映し出された資料を確認しながら発言を聞くこととなります。

例年の全国総会では、支部の機関紙など配布した資料を参照しながら地方組織からの発言が行われてきましたが、今回は地方組織からの資料配布がなく発言を注意してしっかり聞く必要があり、かなり疲れるということがわかりました。



兵庫県連の鳥本さんはベトナム人への生活支援の取り組みの報告があり、1年間でコメを1トンくらい渡したということでした。福島は坂本さんからは県支部の再建をしたいが難しいので南東北を考えている、京都支部の鈴木さんは枯葉剤被害者の支援の取り組みで農業を通じて自立するプログラムを進めている、兵庫県連の坂崎さんが2019年から2年間で退会もあったが22人拡大と報告、今年12月に60年を迎えるのもっと増やしたい、奈良支部の今井さんはフエ水害への支援金を超党派で25名の議員団から出した、ベトナムのコロナ対策で一人の死者も出していないという、広島支部からは機関紙やニュースを届けるだけだがどのように交流を進めるかに関心がある、秋田支部は秋田大学の学生との交流をしている、コロナがなくなればベトナム旅行に行きたい、茨城県連からは茨城では2万人のベトナム人がいてベトナム人協会ができて5千人くらい加入して、友好協会との交流ができて、霧島支部はできたばかりでこれからの組織でナムディンに農業高校を造る、愛知支部

項目	金額	金額	金額
総資産	45,000	45,000	17,000
総負債	330,000	330,000	268,642
純資産	325,000	325,000	251,642
総収入	100,000	100,000	329,450
総支出	600,000	600,000	190,738
繰越利益剰余金	125,000	125,000	76,690
繰越損失	100,000	100,000	274,472
繰越利益剰余金	200,000	200,000	100,000
繰越損失	250,000	250,000	65,775
繰越利益剰余金	17,000	17,000	185,420
繰越損失	200,000	200,000	18,420
繰越利益剰余金	150,000	150,000	59,428
繰越損失	100,000	100,000	0
繰越利益剰余金	1,000,000	1,000,000	1,000,000
繰越損失	70,000	70,000	54,360
繰越利益剰余金	100,000	100,000	52,710
繰越損失	10,000	10,000	3,444
繰越利益剰余金	1,138,000	1,138,000	1,000,000
繰越損失	1,001,000	1,001,000	1,000,000
繰越利益剰余金	770,700	770,700	2,126,700
繰越損失	770,700	770,700	2,126,700

からは4万人の =右上に本部が写っている= ベトナム人がいて名古屋ベトナムネットとつながりつきあう、鉄道東日本支部は1年で6人拡大でき44年前に贈ったDD11を保存する基金を集めている、鉄道西日本支部は次の運動をどうするか検討中、岡山支部からは実習生が大使館の斡旋で帰国しつつある、福岡支部からはコロナで活動ができないができてきたのでベトナム語講座を始めた、今の49名を支部結成60周年の2023年には100名にしたい、大阪府連の山本さんはドクさんからマスクが届いた、新しい会員はベトナム語から入っている、東京都連は8月9日にダイオキシンを予定しているがコロナでむつかしい、神奈川支部はほとんど何もできていないが毎月理事会を開いている、等々の発言がありました。

山根理事長のまとめ、提案の採決、役員選考委員会の報告、承認、大会宣言を本部に委嘱することの確認等議事は進行しほぼ定刻に終了しました。当然交流会はありません。(報告・写真：今西保雄)

※ コロナ禍で緊急事態宣言中ですが、映画上映の情報があり、山本事務局長が観に行つて来られました。その報告とパンフレットからの参考資料の抜粋です（編集部）

「海辺の彼女たち」をみて

コロナ禍の中、映画は上映されてるのかと半信半疑で予約を入れたところ上映されているということ。シネマは小さい映画館だから可能なのか。

セミドキュメンタリーということだったが、技能実習生の状況を齋藤神戸大学准教授の解説を読んでから見るのがいいと思う。技能実習生の実態がほとんど省略されていたように思うから。さきに、西山さんから送られてきているDVDのドキュメントをみたものにとっては、

物足りない気がした。元の研修所（事業所）での実態は、後者では、夜中にカエル



を取り食するという場面があった。この映画では北海道へ闇ルートで逃げていく。この闇ルートをベトナム人が運営しており、この辺が軽く扱われているのに不満がある。

3人の彼女たちは海辺で漁師の下働きだが、闇中で生活を続ける。これは結果としてこうならざるを得ないことを示していたのかもしれないが、違法状態で続けるという結末には何を訴えたいのか私には疑問が残った。ベトナムの彼氏と別れて来日して、妊娠がわかって、偽造書類で診察を受けるというのもどうなのか。そして胡散臭いところで堕胎の薬を手に入れるというのも現実にはあるのかもしれないが、私には受け入れがたいところである。

実習生が生活を続けられるということが主題なのか、違法性をもっと明確にとらえるべきではないかと思った。（山本）

「技能実習制度」の問題点と対策

制度上転職が許されず、転籍も困難なことから、日本人労働者が定着しない不人気産業を中心に、技能移転という本来の目的を逸脱し途中で辞めない使い捨て可能な労働力の確保策として利用される例が多発した。

加えて、実習生の中には、現地の送り出し機関が実習生から徴収できる手数料（例：ベトナムでは上限 3600 ドル）以外の本来許されていない手数料を請求されるなどして、多額の借金（100 万円を越える場合も）を抱えて来日しているケースも多い。そのような借金や上述の転職制限などを背景として生まれる極端な従属関係の下で、違法な労働条件や暴力、ハラスメントに苛まれたり、低賃金の下で予定どおり借金を返せず、失踪して不法就労に従事する実習生も続出している。

その対策として、2017 年 11 月、技能実習法の施行により制度が改正され、実習先の変更の許可、また相談窓口を設けるなど制度の適正な実施や実習生の権利保護のための対応がなされた。

失踪者の増加

しかしながら、依然として失踪者数は、技能実習生の増加に伴い増えている。2019 年には 8796 人。そのうちベトナム人は 6105 人（全体の 69.4%）、中国人は 1330 人（15.1%）

失踪の理由は、低賃金によって借金を返済ができないことを主として、劣悪な待遇、パワハラなど様々だ。

近年では民間のシェルターに助けを求める者が増える一方、犯罪に関わった疑いのあるケースも頻りに報道されるなど、失踪する人々、そして制度自体の問題に注目が集まってきている。監修：齊藤善久（神戸大学）

（映画のパンフレットより）



《写真で見る

ベトナムの思い出》

—北部①—

私は、バンメトートに住む前から10回位ベトナム各地に旅行しています。そしてバンメトートに住んだ以降もベトナム中を旅しました。北は中国国境近く、南はカムウ岬まで、ほぼ全土を回り、約40都市を訪れました。それを写真で振り返ってみます。

2000年に和気組の「北部少数民族訪問の旅」に参加、ディエンビエンフーからライチャウに行き、ライチャウを拠点にマイクロバスで連日100キロ走り、20を超える少数民族の集落を訪問。

写真①—関西空港→ハノイ・ノイバイ空港→ディエンビエンフー空港着



写真②—ライチャウから中国国境まで15キロの地点まで行って撮影。遠方の山の向こうは中国雲南省。



写真③—バスで移動の途中、民族衣装で道路工事中の女性達に遭遇。



写真④—このおばあさんは「日本人に会ったのは50年ぶり」といい、日本兵以来とのこと。



写真⑤—白タイ族と踊る(フォークダンスのような簡単な踊りだった)



写真⑥—少数民族女性のスカート(土産に買って帰り、奥さんに叱られた人も)



て紹介されています。

巻頭言として「ベトナム戦争と日本人」に関する証言集があり、十人のルポルタージュで構成していると書かれ、その最初に「ベトナム残留日本兵—ある最後の証言」

として約 10 ページにまとめられています。3 年ほど前に東京から中央大学学生の桑山依生基さんが杉原剛さんを訪ねて来たことがありました。彼女が小豆島さんとともに老人ホームを訪問してインタビューし、その後



の見聞を交えてあります。杉原さんから聞いた話は抗仏戦争期のベトナムでの生活、ベトミンへの協力の仕方、帰国時の苦労などが中心です。帰国してからの日本ベトナム友好協会の活動や大きく成長した息子さんとの再会と府連が中心になってタインホアのデイエンビエン小学校に校舎をプレゼントした経過などにも触れられています。彼女は杉原さんの「戦争というものには最悪、人を殺す、物を破壊する、これに尽きる」という言葉を記録しています。

特集の続きは「L S T (戦車揚陸艦) —元日本人船員の証言」「カメラマン・沢田教一—妻・サタさんが語った真の姿」「ゼッケン 8 年運動—息子が語る父・金子徳好」「10・8 羽田闘争—兄が語る弟・山崎博昭」(実は山崎博昭さんは私と中学・高校が同じで 1 年先輩です。ですから少しは面識がありました。いろいろと思い出しながら読みました)「愛国的脱走兵—クレイグ・アンダーソンの証言」「ベ平連/ジャテック—米兵の脱走をどう支援したのか」「祖国を喪失した留学生—あるベトナム青年が選んだ道」「ボートピープル—七年越しに再会した家族」「いちよう団地—インドシナ難民を受け入れた公営住宅」となっていて、時代も内容も多岐にわたっています。ベトナム戦争だけでなく 21 世紀の現代の日本とベトナムの関係についても教えられることがたくさんありました。

その 2 DVD

※ 西山さんからの DVD 紹介シリーズ

=BS世界のドキュメンタリー=

「枯れ葉剤

母親たちの闘い」

ベトナム戦争時にアメリカ軍が大量に散布した枯れ葉剤。ベトナムはもちろんアメリカでもいまだ被害が終わることのない枯れ葉剤の闇に挑む二人の女性の闘いを描く。枯れ葉剤により子どもを死産、自らも肝臓がんを抱えるベトナム人女性は、枯れ葉剤を製造した企業に対する訴訟を決意。一方、ベトナム戦争後も農業用に枯れ葉剤の使用が認められていたアメリカでは、オレゴン州に住む女性が草の根の反対活動を開始。散布の停止を実現させるが、その後自宅に不審火が発生、4 人の子供を失ってしまう。 原題: THE PEOPLE v s. AGENT ORANGE (アメリカ/フランス 2020 年) 2021 年 6 月 3 日放送

NHK のオンデマンドの宣伝文句は上記です。

ベトナム戦争で枯れ葉剤が散布された地域では甚大な被害が終わることなく現在も続いているということについては少しは知識があります。また従軍した米国軍人が帰国後その影響をうけているとの話も聞いたことがありました。この DVD ではベトナム系フランス人女性が米国企業を訴えてフランスの裁判所に提訴し彼女を支える周りの協力があつたが敗訴した事、アメリカではベトナム戦争で使用禁止となつて以後に農業用に枯れ葉剤が使われたために被害を受けた女性の戦いぶりを描いています。こうしたことは初めて聞く話で、製薬企業のこわさがひしひしと伝わってきます。

事務所に置いてありますから視聴してください。

(文責: 今西保雄)

※ 枯れ葉剤問題については東京都連が中心になってダイオキシンの取り組んできています。今年は 10 回目を数えます。今年はコロナ禍でもありオンライン配信視聴もできるようになっています。当然、大阪からも可能です。8 ページの要綱を参照してください。



ベトナム ダイオキシンデー

第10回ニッポン2021

いまでもベトナムで枯れ葉剤犠牲児が生まれている
多くの被害者が苦しんでいる 謝罪も補償もされていない

ダイオキシンをめぐる状況—海外と日本

美地さんのコンサート、中村梧郎さんと藤原寿和さんの報告と対談

とき

2021年8月9日(休日)

12時30分開場 13時開会 16時閉会予定

会費 前売り 2,000円

当日 2,200円

(学生・ベトナム人 1,000円)

オンライン配信視聴 1,000円

ところ きゅりあん小ホール
(品川区立総合区民会館)

JR京浜東北線・東急大井町線・りんかい線大井町駅下車徒歩1分
143名先着順(座席数286の半数)
〒140-0011 品川区東大井5-18-1

なかみ

1. コンサート

美地

2. 報告と対談

中村梧郎 海外のダイオキシンをめぐる状況

藤原寿和 国内におけるダイオキシンをめぐる状況

対談 ①ダイオキシン汚染対策をめぐる海外と日本の政策の相違について

②ダイオキシン汚染対策にとって今何が一番必要なことか

③未来世代にどう引き継いでいくのか

申込方法・チケット販売のご案内

下記の連絡先(電話またはメール)でお申込みいただくか、右記QRコードからオンラインでお申込みください。

チケットは金券です。お申し込み後、チケット代金を下記の振込先に郵便振替でお申込みをお願いします。

入金確認後、自宅などで指定先にチケットを郵送させていただきます。

前売りは1枚2,000円、当日は2,200円(学生・ベトナム人1,000円)オンライン配信視聴1,000円です。

申込み振込先 郵便為替00250-5-141163 ベトナムダイオキシンデー実行委員会



【主催】ベトナムダイオキシンデー第10回ニッポン2021実行委員会 【後援】ベトナム大使館

【事務局】170-0005 東京都豊島区南大塚2-17-10 日本ベトナム友好協会内

【連絡】柳洋二 090-7414-3504 Eメール 鈴木芳博 suzuki.y0001@gmail.com